

令和6年度 沖縄県の取組の経過と今後の予定

沖縄県特別支援教育研究会
会長 岡越 猛

1 研修・研究活動の計画

期日	活動名
6/14(金)	第1回評議員会・研修会① (Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)
7/26(金)	令和6年度総会・記念講演(研修会②) (参集型+Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)
10/11(金)	第2回評議員会・研修会③ (Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)
11/8(金)	研究大会分科会関係者会・研修会④ (Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)
12/13(金)	第52回沖特研研究大会 (参集型+一部オンデマンド配信)
2/21(金)	第3回評議員会・研修会⑤ (Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)

2 活動の概要

(1) 第1回 評議員会・研修会① (参集型+Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)

講師	八幡 昌士 (沖縄市教育委員会 指導主事)	参加人数	43名
実施形式	1 集合研修 <u>リモート研修</u> 3 その他(資料配布等)		
演題	沖縄市における就学支援の取組		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の承認 ・昨年度の事業・会計報告 ・沖特研運営について ・今年度の事業計画 ・今年度の予算・会計 ・今年度の研究大会 ・事務局輪番 ・九特連・全特連について ・研究大会に向けたスケジュール ・全特連功労者の推薦について 		

(2) 令和6年度総会・記念講演(研修会②) (参集型+Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)

※記念講演は沖縄県情緒障害教育研究会と合同開催

講師	加藤 典子 (文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官)	参加人数	オンライン 91端末 ※1端末に複数名視聴含む 来校 78名
実施形式	1 集合研修 <u>リモート研修</u> 3 その他(資料配布等)		
演題	児童生徒一人一人の学びの充実に向けて～特別支援教育の目指す方向性～		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の承認 ・昨年度の事業・会計報告 ・今年度の事業計画および予算・会計案 ・沖特研研究大会について ・九特連・全特連について ・研究大会に向けたスケジュール ・全特連功労者の推薦について 		

(3) 第2回評議員会・研修会③ (Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)

講師	城間 園子 (琉球大学大学院 教育学研究科 高度教育実践専攻 准教授)	参加人数	43名
実施形式	1 集合研修 <u>リモート研修</u> 3 その他(資料配布等)		
演題	適切な学びの場・柔軟な学びの場の見直し-インクルーシブ教育システムの構築の視点で-		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・第52回沖特研研究大会について ・次年度以降の研究會運営 ・会計進捗について ・今後の日程確認 		

(4) 研究大会分科会関係者会・研修会④ (Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)

講師	城間 園子 (琉球大学大学院 教育学研究科 高度教育実践専攻 准教授)	参加人数	67名
実施形式	1 集合研修 <u>リモート研修</u> 3 その他(資料配布等)		
演題	教育支援委員会の前に-校内委員会での事前確認-		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・各係の仕事内容 ・研究大会当日 直前打ち合わせ ・分科会マニュアル ・情報の取り扱いについて ・分科会記録用紙 ・分科会ごとの打ち合わせ(ブレイクアウトルーム) ・質疑応答・全体確認 ・事務連絡 		

(5) 第52回沖特研研究大会(参集型+一部オンデマンド配信)

講師	綿貫 愛子(NPO 法人東京都自閉症協会)	参加人数	257名
実施形式	①集合研修 ②リモート研修 ③その他(資料配布等)		
演題	「自分らしく生きる」ことを支える特別支援教育～自閉スペクトラム症当事者の視点から～		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業 ・開会行事及び記念講演 ・第1分科会「各教科の指導(小学校段階)」 ・第2分科会「各教科の指導(中学校・高等学校段階)」 ・第3分科会「各教科等を合わせた指導/特別の教科 道徳・特別活動・総合的な学習」 ・第4分科会「キャリア教育・進路指導」 ・第5分科会「自立活動」 ・第6分科会「交流及び共同学習」 ・第7分科会「特別支援学級における就学支援」 		

(6) 第3回評議員会・研修会⑤(Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)

講師	城間 園子(琉球大学大学院 教育学研究科 高度教育実践専攻 准教授)	参加人数	これから開催予定 (参加予定 77名)
実施形式	①集合研修 ②リモート研修 ③その他(資料配布等)		
演題	共に学ぶ仕組み		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・研究大会の報告 ・今年度の事業・会計の進捗報告 ・次年度の事業・予算案 ・次年度の研究大会について ・研究集録について ・次年度の役員の氏名報告 		

3 今年度の成果と課題

(1) 今年度の成果

○各事業の実施について

- ・コロナ以前、コロナ禍で取り組んできた本研究会運営を踏まえて、令和5・6年度においては評議員会等はオンラインと参集型のハイブリッド式で開催、研究大会は参集型で行うなど開催方法の工夫をすることができた。
- ・令和6年度総会・記念講演では、沖縄県情緒障害教育研究会と合同開催として文部科学省より加藤典子特別支援教育調査官を招聘し、大変貴重な研修会を実施することができた。
- ・研究大会では、事務局校の授業参観の実施、記念講演や各分科会を通して参加者がお互いの顔を見合わせて学ぶことができる機会となった。また、今年度より分科会の実施方法を変更し、より参加者同士が協議し学び合いやすくなる機会を設定することができた。

○研究会の運営について

- ・本研究会を運営するにあたって、県立学校教育課や各教育事務所、各教育委員会の協力体制を構築することができ、これまでより円滑な運営につなげることができた。
- ・各支部より本研究会運営へのご理解・ご協力をいただき各事業を遂行することができた。
- ・運営の見直し:研修会の在り方や予算の見直し等。

(2) 今後の課題

- ・コロナ以前、コロナ禍で取り組んできた本研究会運営を踏まえて、持続可能な研究会運営にするため、研究会の体制整備(組織構築)、運営費(予算案等)等の見直しは引き続き喫緊の課題と言える。
- ・各支部の事情等により、評議員等の選出や研究大会に係る提案者や係等の選出が難しく、研究会や大会運営に関してさまざまな問題点が出てくる。
- ・研究会運営にあたって、各支部や各学校間における相互理解の啓発、行政や関係諸機関との連携を通して引き続き特別支援教育の発展に寄与していきたい。
- ・運営に係る事務局校の負担等の兼ね合いも見ながらではあるが、研修会参加に係る旅費等の観点からオンライン開催やハイブリッド開催などの開催方法については今後も検討が必要である。